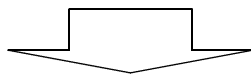


## 【中学校 国語】

<b>国語 A</b> (知識)	<p>□成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 文脈に即して漢字を正しく読むこと</li><li>• 索引の特徴を理解し、必要な情報が本のどこにあるかを判断すること</li><li>• 単語の類別や働きについて理解し、文にふさわしいように活用させて書くこと</li><li>• 古文と現代語訳とを対応させて内容をとらえること</li></ul> <p>■課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 文脈に即して漢字を書くこと</li><li>• 話し合いの方向をとらえて、的確に発言すること</li><li>• 身近な生活の中から課題を見付け、材料を集め、自分の考えをまとめること</li><li>• 書いた文章を読み返し、段落相互の関係を整えること</li></ul>	<b>国語 B</b> (活用)	<p>□成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 文章の内容を正確にとらえること</li><li>• 表現の仕方に注意して読み、文章の内容を的確にとらえること</li></ul> <p>■課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 書かれている情報を基に自分の考えを論理的に書くこと</li><li>• 文章の内容を正確にとらえ、提示された形式に合わせて適切に書くこと</li><li>• 文章に書かれている事柄を基にこれまでの体験と結び付けて自分の考えを書くこと</li></ul>
---------------------	--	---------------------	--



### 学校における学習活動の改善方策例

- 話し合いの過程で発言を整理させ、司会の場合は目的に沿って理由を聞いたり他の発言を促すようにさせるなど、話し合いが効果的に展開するように指導する。
- 自分の考えを表すために材料を付け加えるなど、文章の内容を見直しながらかくようにさせる。
- 自分の意見に説得力をもたせるため、論理の展開の仕方を複数考えて目的に応じて選択させる。
- 目的をもって文章を読む活動を設定し、内容を要約したり形式を工夫して簡潔にまとめさせる。
- 書かれている事柄を正確にとらえ、自分の知識や体験と関連付けて考えを述べられるよう、詩歌を鑑賞する文章や、新聞記事に対する意見文、物語の批評など、様々な形態の文章を書かせる。

### 学校の学習を生かした家庭学習の参考例

- ※ 文中の意味と結び付けたり、漢字がもつ意味を考えながら漢字を読んだり書いたりしましょう。
- ※ 書いた文章を修正する時は、文章全体で伝えたいこととの関係を考えながら書き直しましょう。
- ※ 文章を書くとき、題材に関連する資料を根拠として用いて、自分の考えを表してみましょう。
- ※ 文章を書くときに、決められた字数で要点をまとめたり、分かりやすくするためにQ & A形式でまとめるなどの工夫をしてみましょう。